

平成29年度 市町村議会議員研修  
『議会改革を考える』～先進事例に学ぶ  
住民参加・情報公開～

研修日時 平成29年11月6日～11月7日

場 所 全国市町村国際文化研修所（JIAM）

主 催 財団法人 全国市町村研修財団  
全国市町村国際文化研修所

報告者 高瀬 洋

# 講義内容

## <この講座のねらい>

- 議会改革を進めるにあたっての基本的な事項（地方自治の現状、議会基本条例のあり方や作り方、改正や検証方法など）について学ぶ
- 議会への住民参加、情報公開に関して、先進事例の紹介を聞き、意見交換を通じて理解を深める
- 「ダイアログ」（自分の意見を伝え、相手の考えを理解し、互いに協力して解決策を導くためのコミュニケーションの方法）を用いた演習を体験し、会議や議員間討議のやり方を学ぶ

## 【11月6日】

### 12:30～14:00 地方自治の現状と議会改革の動向

早稲田大学名誉教授 北川 正恭 氏

### 14:15～15:15 議会改革の進め方

早稲田大学マニフェスト研究所 事務局長 中村 健 氏

### 15:30～17:00 住民参加・情報公開を進める取り組み

(15:30～16:15) 北海道芽室町議会 議長 広瀬 重雄 氏

(16:15～17:00) 岐阜県可児市議会 議長 川上 文浩 氏

### 17:05～17:35 意見交換

早稲田大学マニフェスト研究所 事務局長 中村 健 氏

北海道芽室町議会 議長 広瀬 重雄 氏

岐阜県可児市議会 議長 川上 文浩 氏

## 【11月7日】

### 9:00～12:00 演習 各議会における今後の議会改革推進の検討

早稲田大学マニフェスト研究所 事務局長 中村 健 氏

麗澤大学地域連携センター 客員研究員 松野 豊 氏

### 13:00～14:30 講義・意見交換 今後の議会改革の進め方

早稲田大学マニフェスト研究所 事務局長 中村 健 氏

平成29年度 市町村議会議員研修  
『議会改革を考える』～先進事例に学ぶ住民参加・情報公開～  
を受講した所感 高瀬 洋

表題の「議会改革を考える」という議員研修を受講しました。元三重県知事で現在、早稲田大学名誉教授の北川正恭先生の講義の他、早稲田大学マニフェスト研究所事務局長 中村健氏、北海道芽室町議会議長、岐阜県可児市議会議長等から議会改革の進め方や先進事例紹介がありました。ところで、我が西脇市は早稲田大学マニフェスト研究所の発表では、議会改革ランキングが2015年度全国13位、2016年度全国14位



となっており、ここ数年上位をキープしています。このように改革は進んでいるのだから、このような研修は受講する必要はないのではないかと思う人もいます。しかし、一期目の議員の私にとっては、既にできていた「西脇市議会基本条例」に書いてある内容をその通りにやっただけという思いもあり、他の自治体と比較して西脇市はどういった事が進んでいるのか。また、議会改革が進むことによって、市民の幸せにどう繋がるのかといったことへの知見を深めることが、この研修を受講した理由です。

さて、この研修の交流会や演習を通じて、他の自治体の状況も分かったので、多少、手前味噌になるかもしれませんが、全国ランキング14位の西脇市がよくやっていると思った点は次のとおりです。

- ① 議会報告会を町単位で実施し、ワークショップ形式で意見交換を実施することにより、多くの市民が発言し易いよう工夫している。
- ② 議会だよりを議員だけで作成し、議案への各議員の賛否や討論の内容も記載している。また、特集や市民の声コーナーなど市民が親しみ易く感じるよう工夫している。（議会の広報誌はなく、行政側の「市民だより」等に間借りしている議会もある。）
- ③ 各議案は「質問」⇒「議員間討議」⇒「討論」⇒「採決」の順に進め、論点整理は副委員長の役割となっている。（議員間討議がない議会が多い）
- ④ 議会基本条例に則した活動ができたか、年一回議員全員でチェックしPDCAを回そうと努力している。（チェック、アクションが希薄で、条例の改版が適宜行われていない自治体が多い。）

この他にもいくつかあるのですが、これぐらいにしておきます。

今回の研修で分かったこととして、全国の議会でも議会改革が思うように進まない理由には、議会運営委員会の決議には全員一致の原則があるので、一部の議員の反対により前に進まない。とか、小規模の自治体では副業を持っている議員も多く、議会改革に全員で取り組めないなどの悩みを聞きました。

西脇市では、今後も更なる議会改革を視野に入れているところですが、例えば、議会だよりは、そういったことが得意な議員を中心に役割分担した方がいいのではないかという意見も出ています。このような意見も否定はしませんが、私は、それぞれの議員が得意な分野で才覚を発揮することにより、全体的には、議員全員が市民サービス向上のために公平に役割分担している議会となることを望んでいます。

以 上